

グルジア政治・経済 主な出来事

【2014年4月7日～2014年4月13日】

[当地報道をもとに作成]

平成26年4月17日

在グルジア大使館

主な動き

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼第3回ロシア・アブハジア人道フォーラム(11日)

・「ユーラシア研究所」主催で「第3回ロシア・アブハジア人道フォーラム」がソフミで開催された。ロシアからはチェルノフ露大統領府国際関係・対外文化交流局長らが参加。アブハジア「政府」の代表者、ロシアおよびアブハジアのNGO、市民グループ、記者らが出席。

2. 外 政

▼ウスパシヴィリ国会議長がEU国会議長会議に出席(7日)

・「ウ」国会議長は、ヴィリニウスで行われた EU 国会議長会議の東方パートナーシップ諸国国会間協力セッションに出席し、グルジア国民の選択である欧州との統合には EU からの支援が不可欠であると演説した。また、「NATO なしではグルジアは世界地図から再び消えてしまうかもしれない」として、グルジアが欧州に近づき、NATO に加盟し、ロシアが民主的な国になることこそが問題の長期的な解決策になると述べた。

▼リトアニア外務次官がグルジアを訪問(7日)

・ベルチャシヴィリ外務次官とグルジアを訪れたクリヴァス・リトアニア外務次官が会談し、グルジアの EU・NATO 加盟に向けた両国の行動計画に署名を行なった。

▼イスラエル国会副議長がグルジアを訪問(8日)

・ガリバシヴィリ首相と会談し、学生の交換プログラム、両国国会間の交流など二国間協力の推進について議論。最近イスラエルがグルジア国民に対して短期滞在のための査証を撤廃したことで、経済、観光、通商の分野での両国の関係が深まることに対する期待が表明された。

▼ライチャク・スロバキア副首相がグルジアを訪問(8日)

・在グルジア・スロバキア大使館の開設に合わせ、ライチャク・スロバキア副首相兼外務・欧州問題担当大臣がトビリシを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相、パンジキゼ外務大臣と会談した。

・「ラ」スロバキア副首相は、グルジアの EU・NATO 加盟に対するスロバキア政府の支持を再確認し、スロヴァキアの経験を共有する用意があることを表明。

▼グルジア軍部隊がカンダハル地方に配備される(8日)

・国防省によれば、アフガニスタンでの ISAF ミッションの一部として、グルジア軍の特殊山岳部隊がカンダハル

の空軍基地に配備された。グルジア軍部隊がカンダハル地方に配備されるのははじめて。

▼ソチ冬季五輪に関連したグルジアとの協力に関する露連邦保安庁長官の発言(9日)

・ボルトニコフ露連邦保安庁長官は、ソチの五輪施設に対するテロ攻撃の実施を目論んでいたグループの脅威が、露連邦保安庁と米国、オーストリア、フランス、ドイツおよびグルジアの治安機関との共同努力により取り除かれたと述べた。ソチ五輪前、グルジア政府は五輪の安全な実施に貢献する用意があると述べていた。

▼リデゴ・デンマーク外務大臣がグルジアを訪問(9日)

・ガリバシヴィリ首相、パンジキゼ外務大臣と会談。「リ」デンマーク外務大臣は、デンマークは欧州近隣政策、東方パートナーシップを重視しており、グルジアの欧州との統合のプロセスを支持しているとして、通商・経済の分野における両国関係の促進、エネルギー分野での協力を進める必要性を強調した。「ガ」首相は、人権保護、国内避難民の支援、メディアの自由、経済の分野におけるデンマークの協力が特に重要であると述べた。

▼ロシア航空機の領空侵犯(10日)

・グルジア外務省によれば、10日10時40分、ロシアの AN-2 航空機がアブハジアからグルジア中央政府が管理する空域に侵入し、ズグディディ地区の上空を飛行した。同日12時45分には、再び露航空機がグルジア中央政府の管理する空域に侵入した。グルジア外務省は「ロシアによる挑発的な行為および緊張を煽る試みを防ぐよう」国際社会に適切な対応を呼びかける声明を発表。

▼NATOのMAPに関するヌーランド米国防務次官補の発言(10日)

・米上院外交関係委員会欧州部会の公聴会で、ヌーランド米国防務次官補は、米国は9月のウェールズでの NATO 首脳会議でグルジアにメンバーシップ・アクションプラン (MAP) を与えることを支持するが、NATO 内でそれに関する合意はないと発言。また、グルジア・EU の連合協定への署名により「グルジアと多くの NATO 諸国との関係が深まるため、グルジアが MAP を得るに値するか否かについてのそれらの国々の判断に、連合協定への署名が肯定的に影響するよう期待する」と述べた。

・同公聴会では、チョレット米国防務次官補も、グルジアは米軍とともにアフガニスタンで戦っている「素晴らしいパートナー」であるとして、「我々は MAP の付与を支持する」と発言。

▼パンジキゼ外務大臣がドイツを訪問(10日-12

日)

・ホイスゲン独外交・安全保障政策首相補佐官、シュタインマイヤー独外務大臣、レットゲン独連邦議会外交委員会委員長、独連邦議会对南コーカサス協力グループ次期委員長とそれぞれ会談し、グルジアの内政・外交政策、グルジア・EU の連合協定への署名およびグルジアの NATO への加盟に関して議論した。また、「パ」外務大臣はエーベルト財団およびヘルティ行政学院で講演した。

・「シュ」独外務大臣は、連合協定への署名に向けた準備が加速していると強調し、署名について疑問符はなく、計画通りにプロセスが進むことを期待していると述べた。会談後に開かれた両外務大臣の記者会見では、2014 年 4 月 24 日にドイツとフランスの外務大臣が共にグルジアを訪問することが発表された。

3. 内 政

▼チカイゼ内務大臣の発言(7日)

・チカイゼ内務大臣は、新聞のインタビューで、野党「統一国民運動」(UNM) が政府の転覆を目論み、犯罪集団と繋がりのある人々を使って国内を不安定化を試みている疑いがあると発言。また、UNM はウクライナの活動家をグルジアに招いて準備を行なっているとも述べた。

・UNM は内務大臣の発言を妄言であるとして非難。

・8 日、ガリバシヴィリ首相は、内務大臣は脅威の可能性について話したとして、『「グルジアの夢」が政権に就いている間は、誰も国を不安定化することはできない。試みる者があれば厳しく罰せられる』と述べた。

・与党連合のヒダシェリ議員は、内務大臣がこのような発言をするべきではないと述べた。

▼政府が国会に反差別法の法案を提出(10日)

・提出された「あらゆる差別の排除に係る法律」は、EU との間の査証自由化行動計画のなかでグルジアに義務づけられたもの。グルジア青年法律家協会は、多くの市民グループの関与のもとで法務省がまとめた当初の案よりも監視のメカニズムや罰則の規定が緩やかになっていると批判。原案では差別を監視する新たな機関が設置されることになっていたが、提出された法案ではその機能は人権保護官事務室が担当することになっている。

▼検察がアハライア議員を起訴(11日)

・4 月 4 日に国会が、国会の承認なしで国会議員の起訴を可能とする法律改正(拘束には国会の承認が必要)を採択したことを受け、検察はアハライア議員(UNM)を起訴。検察の主張によれば、「ア」議員が 2009 年にサメグレロ地方の主任検察官であった際、権力乱用があった。

▼憲法裁判所が放送法改正を違憲と判断(11日)

・2013 年 6 月に国会が採択した放送法改正により、公共

放送局の評議会の構成が変更され、それまでの評議員 7 名が任期途中の 2014 年 1 月に解雇された。4 名の任期は 2014 年まで、残り 3 名の任期は 2017 年までであった。6 名が任期途中の解雇を憲法違反として提訴していたが、憲法裁判所は原告の訴えを認め、解雇を違憲と判断。

・現在、新しい評議員の選出の手続きが進められているところであり、国会は今後対応を検討する。

4. 経 済

▼2014年第1四半期のワイン輸出量(8日)

・国家ワイン局によれば、2014 年の第 1 四半期に 1,550 万本のワインが 19 か国に輸出された。輸本数は前年同期比で 243%。輸出先は多い順にロシア(71%)、ウクライナ、カザフスタン、ポーランド、ラトビア、中国、リトアニア。輸出額は 5,120 万ドル(前年同期比 290%)。

・第 1 四半期のブランドーの輸出は 394 万本(前年同期比 113%)。輸出額は 1,450 万ドル。輸出先は 1 位がウクライナ(63%)で、次いでロシア。

▼国営の開発銀行の設立構想(9日)

・クヴィリカシヴィリ経済・持続的発展大臣は、国営の「パートナーシップファンド」を改組し、大規模なインフラ整備を支援する国営の開発銀行を設立する構想があると発言。更に、「ク」大臣は、開発銀行の総裁候補としてサガネリゼ与党連合院内総務の名前を挙げた。

▼第16回国際観光博覧会(11日)

・トビリシで開催された博覧会には、グルジアおよびアゼルバイジャン、アルメニア、トルコ、タイ、アラブ首長国連邦、ウクライナ、スイス、チェコの観光関連会社約 100 社が出展。クヴィリカシヴィリ経済・持続的発展大臣は、開会の挨拶で、「2014 年中に国内で国際的なブランドのホテルが幾つか開業し、新たな国際航空路線の就航も予定されている」と述べた。

▼グルジア国立銀行の外貨保有高(12日)

・国立銀行によれば 3 月末の時点での国立銀行の外貨保有高は約 25 億 9860 万ドル。先月末より 2700 万ドル減少。2013 年末から約 8%減少している。

▼ハドゥリ財務大臣が訪米(10日-14日)

・IMF・世界銀行春季会合に出席。朱民 IMF 副専務理事、スネル IMF 理事、アフメド IMF 中東・中央アジア局長、ヘームスケルク世界銀行理事、タック世界銀行欧州・中央アジア副局長らと会談。国際金融公社、多数国間投資保証機関(MIGA)、JP モルガン社の代表者とも会談。

・スネル IMF 理事との会談では、グルジアと IMF との協力の推進を確認。スネル IMF 理事は、2014 年のグルジアの経済成長目標が必ず達成されると確信していると述べた。